

平成 26 年度乳児家庭全戸訪問の実施結果について

1 事業の概要

乳児家庭全戸訪問は、区内の、概ね生後 4 か月未満の乳児のいる全ての家庭を、保健師および助産師が訪問する事業である。産後うつ病の疑いや育児不安など何らかの支援が必要な母親や育児環境の確認が困難な家庭を把握し、そうした乳児家庭を対象に養育支援会議を開催し、支援方法等を検討している。

平成 26 年度の乳児家庭全戸訪問の結果について報告する。

2 実施体制

保健師 12 人及び専任保健師(非常勤) 2 人、助産師(委託) 8 人による 22 人で実施

3 実施状況

(1) 訪問状況

(人)

	対 象	訪問対象者数	訪問実数	フォロー数
H23	H23.4 ~ H24.3 生	1,351	1,254 (92.8%)	97 (7.2%)
H24	H24.4 ~ H25.3 生	1,491	1,413 (94.8%)	78 (5.2%)
H25	H25.4 ~ H26.3 生	1,501	1,440 (95.9%)	61 (4.1%)
H26	H26.4 ~ H27.3 生	1,643	1,554 (94.6%)	89 (5.4%)

	区外に居住		乳児健診等で把握				その他	計
	転出	区外在住	里帰り	乳児の入院・死亡	母の復職	訪問辞退		
H23	50	10	15	1	5	14	2	97
H24	45	5	8	2	1	16	1	78
H25	33	6	7	2	2	10	1	61
H26	43	16	10	1	5	14	0	89

(2) 訪問時期

(人)

	新生児期 (28日未満)	2か月未満	3か月未満	乳児健診 (3・4か月まで)	乳児健診後	訪問実数計
H23	280(22.3%)	587(46.8%)	288(23.0%)	69(5.5%)	30(2.4%)	1,254
H24	223(15.8%)	685(48.5%)	355(25.1%)	93(6.6%)	57(4.0%)	1,413
H25	197(13.7%)	736(51.1%)	349(24.2%)	106(7.4%)	52(3.6%)	1,440
H26	239(15.4%)	684(44.0%)	435(28.0%)	137(8.8%)	59(3.8%)	1,554

(3) 対応状況

(人)

	継続支援不要	保健所による経過観察	養育支援会議 で対応を検討	計 (訪問対象者数)
H23	950(70.3%)	145(10.7%)	256(18.9%)	1,351
H24	1,013(67.9%)	370(24.8%)	108(7.2%)	1,491
H25	1,087(72.4%)	312(20.8%)	102(6.8%)	1,501
H26	1,160(70.6%)	365(22.2%)	118(7.2%)	1,643

	保健所における 経過観察	要保護児童支援 ネットワークにて支援	子ども家庭支援 センターで対応	計
H23	221(86.3%)	33(12.9%)	2(0.8%)	256
H24	73(67.6%)	33(30.6%)	2(1.8%)	108
H25	67(65.7%)	31(30.4%)	4(3.9%)	102
H26	82(69.5%)	36(30.5%)	0	118